



一般社団法人日本支承協会主催（沖縄会場）

「実務者のための道路橋支承部の点検・診断・維持管理技術」講習会

● 趣旨

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震では、道路構造物が大きな加速度応答によって直接的に損傷した例は少ないものの、津波によって上部工が流失したり、震源から遠く離れた地点の橋梁で積層ゴム支承本体に破断が生じるなど、過去に経験の少ない特殊な事例が発生しました。一般社団法人日本支承協会が研究を委託した公益社団法人土木学会鋼構造委員会では、「鋼橋の支持機能検討小委員会」を設置し、東北地方太平洋沖地震によって受けた支承部の損傷状況や自治体で行われた点検結果などについて検討を重ね、その結果を「鋼構造シリーズ 25 道路橋支承部の点検・診断・維持管理技術」としてまとめました。本講習会では、鋼構造シリーズ 25 を参考に、支承部の基本的な構造や機能、支承部の予防保全と長寿命化技術および今後の維持管理に向けての提言について解説します。橋梁の設計・施工および維持管理に関する初心者からベテランの技術者にとって非常に役立つ内容となっていますので、多数のご参加をお願い致します。

尚、昨年 4 月に起きた熊本地震による橋梁被害と耐震設計のあり方についても、九州大学名誉教授大塚久哲先生にご講演をしていただきます。

● **主催** 一般社団法人日本支承協会

● **後援** 公益社団法人土木学会
一般社団法人沖縄県測量建設コンサルタンツ協会

● **日時** 平成 29 年 5 月 19 日（金）13:00～17:00

● **場所** 沖縄県青年会館 〒900-0033 沖縄県那覇市久米 1-15-23 Tel 098-864-1780

● **募集人員** 100 名

● **参加費** 一般 6,000 円、学生 4,000 円。（テキスト代を含みます。）参加費は当日会場で申し受けます（テキストをお持ちの方は、テキスト代 4,000 円を差し引いた 2,000 円で参加出来ます。

また、学生でテキストをお持ちの方は、受講料は無料です。

申込時の備考欄に「テキスト不要」と記入してください。）

* 申込は 1 メールにつき 1 名でお願い致します。

● **申込方法** 所属機関、所在地、参加者氏名、連絡先を明記の上、日本支承協会ホームページから申し込み

● **申込期間** 4 月 10 日（月）～5 月 10 日（水）

● **問合わせ先** 一般社団法人日本支承協会 E-mail : inform@bba-jp.org

TEL 03-3272-4476 Fax 03-3281-8634

● **詳細** 日本支承協会のホームページを参照して下さい。（4 月上旬から掲載します）

● **内容** 講習会の内容は次のとおりです。

1. 開会の挨拶 比志島 康久 （一社）日本支承協会理事長
2. 記念講演 「平成 28 年熊本地震の特徴と、布田川断層帯における橋梁の被害から学ぶ耐震設計のあり方」 大塚 久哲 九州大学名誉教授
3. 趣旨説明 藤原 博 元（株）ネクスコ東日本エンジニアリング
4. 支承部の技術的変遷 姫野 岳彦 （一社）日本支承協会
5. 東北地方太平洋沖地震による支承部への影響、常時における支承部の損傷傾向 谷中 聡久 （株）横河住金ブリッジ
6. 支承部の基本と長寿命化に向けた設計計画 朝倉 康信 （一社）日本支承協会
7. 支承部の点検ポイント、補修・改善事例と今後の維持管理 臼井 恒夫 首都高速道路（株）
8. 閉会の辞 山崎 信宏 （一社）日本支承協会

● 本講習会は、テキストとして「土木学会鋼構造シリーズ 25 道路橋支承部の点検・診断・維持管理技術（平成 28 年 5 月発行）」を使用いたします。土木学会の販売価格は 4,000 円＋消費税です。

● 公益社団法人土木学会の CPD プログラムの認定を受けています。

以上

沖縄 支承講習会プログラム

平成29年5月19日(金) 13:00～17:00 於ける:沖縄県青年会館会議室

主催 一般社団法人 日本支承協会

	内容	時間	持ち時間	講師
1	開会の挨拶	13:00～13:10	10	日本支承協会比志島理事長
2	記念講演 「平成28年熊本地震の特徴と、布田川断層帯における橋梁の被害から学ぶ耐震設計のあり方」	13:10～14:10	60	九州大学名誉教授大塚久哲先生
3	趣旨説明	14:10～14:20	10	支持機能検討小委員会藤原委員長
4	支承部の技術的変遷	14:20～14:35	15	支持機能検討小委員会姫野幹事長
	休憩	14:35～14:45	10	—
5	東北地方太平洋沖地震による支承部への影響、常時における支承部の損傷傾向	14:45～15:30	45	損傷分析WG 谷中主査
6	支承部の基本と長寿命化に向けた設計計画	15:30～16:15	45	性能設計WG 朝倉主査
7	支承部の点検ポイント、補修・改善事例と今後の維持管理	16:15～17:00	45	維持管理WG 臼井主査
8	閉会の辞	—		司会山崎委員

司会 : 山崎委員